

巻頭言

富山県高等学校教育研究会
情報部会長 石黒 光弘

富山県高等学校教育研究会情報部会の会員各位におかれましては、日頃から情報教育ならびに情報部会の活動にご尽力をいただいていることに対し、心から感謝を申し上げます。また、情報部会の事業に際して富山県教育委員会教育みらい室県立高校課をはじめ、富山大学等の関係機関からもご指導をいただいていることに対し、厚くお礼を申し上げます。

さて、学習指導要領が年次進行でスタートして3年を経過しようとしています。教科「情報」につきましても、「情報Ⅰ」が共通必修科目として定着したと言えるでしょう。また、「大学入学共通テスト」(以下共通テスト)においていよいよ「情報」が新教科として出題されました。問題の内容は、日常的な事象や社会的な事象と情報との結び付きを重視して作問するという方針通りで、出題者の工夫を感じるものとなっているようです。知識のみを答えさせる設問よりも、問題文や資料、データをもとに読み取ったり考察させたりする設問が目立ち、解答に時間を必要とするものと分析されていました。今回の共通テストを踏まえて、今後の対策を考えていく必要があるかと思えます。

このような状況で、この11月に、情報部会の教員からなる「情報Ⅰ(教育)研究会[※]」が、富山県教育委員会から優良教職員組織として表彰されました。授賞理由は、「令和4年度の活動開始以来、富山大学と連携し、「情報Ⅰ」の授業実践事例集の作成を行うなど、情報教育の発展に寄与してきた」とあり、研究会の会員の苦労はもちろんですが、富山大学、富山県教育委員会のバックアップがあってこそその結果であり、喜びと感謝に堪えません。特筆すべきは、この研究会の会員が、若手の、そして自ら進んで手を挙げた教員たちの集まりであったことです。現在の富山県の情報科の教員は、多くが学校に一人しかおらず、場合によっては二校を兼務するという相談・協力ができない環境にあり、そのことも頑張れた理由の一つと思えます。これを一つの契機として、さらなるステップを期待したいと思います。

さて、今年度の情報部会の活動は、6月の総会時に、金沢大学附属高等学校の斎藤瑞紀先生に情報Ⅰの授業の実践について講演いただきました。また、7月には研修会として、ベネッセコーポレーションの白戸大士氏に情報Ⅰの共通テスト模擬試験から見えてくる現状について講演いただきました。さらには、11月に実施した研究発表大会では、富山高等学校 猪又健太先生、情報Ⅰ教育研究会の大門高等学校 中西 純先生の研究発表、高岡高等学校 多賀誠志先生による全国大会参加報告、そして、山梨大学の稲垣俊介先生から講演いただくなど、大変盛りだくさんの内容だったと思います。うれしいことは、これらの参集の会が終わった後、先生方があちこちで情報交換を行っていたことです。これこそが実際に参集する会合の良さであり、このときに得た内容は、今後の各学校での指導改善に生かすことができるわけで、オンラインでは得られない先生方の学びにつながっていきます。ぜひ、情報教育の一層の充実を図るための糸口になることを期待しております。

終わりに、関係各位におかれましては、この情報部会の一層の充実、発展のためにご理解、ご協力を賜りますよう、引き続きお願い申し上げます。

※ 高教研情報部会では「情報Ⅰ教育研究会」であるが、富山大学教育実践研究科等の外部には「情報Ⅰ研究会」の名称を使用している。表彰は「情報Ⅰ研究会」として授賞。